



橋田小だより

令和3年6月22日

第275号

Tel 0250-41-0055

Fax0250-41-0056

五泉市立橋田小学校

第一回学校運営協議会が開かれました

校長 齊藤 カオル

- * あいさつができる子どもになってほしい。
- * 自分の命も人の命も大切にできる子どもになってほしい。
- * 優しい子どもになってほしい。
- * 自分の考えをもって行動できる子どもになってほしい。
- * 先生方や家の人から注意されたことをしっかりと反省する子どもになってほしい。…等々



先日、第一回学校運営協議会が開かれました。参加していただいた方々から貴重なご意見をたくさんいただくことのできる有意義な会となりました。ご多用の中にもかかわらず、参加していただいた皆様には、感謝申し上げます。ありがとうございました。

まず、参加していただいた方々から、「どんな子どもになってほしいか」ということについて、自由にご意見を出していただきました。これらは、単なる理想ではなく、これまでの橋田小の子どもたちの実態に基づいた子どもたちにも教職員にも、そして、地域の方々にも「目指してほしい子どもの姿」と前向きに捉えなければもったいないと感じています。

グランドデザインの中に、「ふるさとを愛し、なりたい自分を目指してチャレンジする子ども」を育成すると、「目指す子ども像」があります。学校では、月の生活目標が設定されていて、毎月、子どもたちは、「あいさつ」「思いやり」等に注目して、子どもたち一人一人が「なりたい自分」を決めて頑張っています。しかし、「なりたい自分」の設定には、子ども自身が必要感や強い憧れを感じることで、「よし！頑張るぞ！」と叶えるための意欲もプラスされるのではないかと思います。いかにして子どもたちに必要感や強い憧れを抱かせるか…



この方策を今後の学校運営協議会において検討していきたいと思えます。また、私たち大人一人一人が自分なりに方策を考え、できることから実践していけたらと願っています。保護者の皆様、地域の皆様からぜひひお力をお借りできればと思えます。



6月の全校朝会において、愛媛県で始まり全国に広がっている「シトラスリボン運動」について子どもたちに話をしました。地域・学校(職場)・家庭が連携して(リボンの3つの輪)、「コロナによる差別と偏見をなくそう」という運動です。感染が確認された方々や病院で働く医師、看護師の方々に「ただいま」「おかえり」が言い合える町にしていくことが、みんなが安心して検査を受けることができることにつながり、感染拡大も防ぐことができるという理念です。

全校朝会后に、「私の家にもシトラスリボンがあります。」「行ったお店にシトラスリボンが置いてありました。」と子どもたちや教職員から声を掛けてもらうことができ、五泉市にもこの理念が広まっていることをうれしく思いました。

「普段の生活をゆさぶるコロナ。どこにいても、何をしても、誰でもが感染するかもしれない…」(日本赤十字のHPより)このことをみんなが知り、「もし、自分が感染してしまったら、他の人から何をされたらうれしいか…」について考えていきましょう。」と子どもたちに呼び掛けました。